



戸祭小学校だより

希 望



～2024. 6.26～

発行責任者: 藍原 高秀

▶ 子供達の安全を見守っていただいています

現在、学校では、水泳の授業が始まり、学年の指導計画に応じて少しずつ技能を高めていけるように指導・支援を行っています。また、安全面に配慮しながら指導をするとともに、プールボランティアなど多くのボランティアの皆様、たくさんの地域の方や保護者の皆様が子供達の安全を守ってくださっています。子供達が、そのことを知ることで、多くの方々に支えられているということも再確認してほしいです。

安全は何より大切で優先させるものだと考えています。今後とも、地域や保護者の皆様のご協力をいただきながら安全を確保するとともに、子供達の安全意識を育てていきたいと思いをします。

～「かけこみお宿」対面式～

6/3(月)の一斉下校時に、「かけこみお宿」対面式を行いました。

「かけこみお宿」については、4月の学校だよりでお知らせしたとおりです。



この日は、青少年育成会長様から、「かけこみお宿」は、もしもの時の避難場所であることを、子供達に呼びかけました。6年代表児童からは、日頃からの見守りや避難場所として協力していただいていることに感謝の気持ちを伝えました。

学校では、登下校の際に、「かけこみお宿」の場所をときどき確認し、もしもの時に活用できるように呼び掛けています。ご家庭におきまして、不審者だけでなく、登下校時の子供達の安全について、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

～とまつり見守り隊～



6/12(水)の昼休みに、とまつり見守り隊の方々をご紹介をしました。校庭でたくさんの児童が遊んでいる中、ご紹介のアナウンスが流れると、普段お世話になっているとまつり見守り隊の方々近くに集まり、しっかり話を聞きました。とまつり見守り隊では、緑色のパトロールベストを着た地域ボランティアの方々が、月曜日と水曜日の昼休みに戸祭小の校庭を中心に屋外をパトロールしてくださっています。この活動は、地域の方々と子供たちの交流の機会にもなっています。

▶ 「あいさつ運動」スタート！



6/12(水)から、「あいさつ運動」がスタートしました。毎週水曜日の朝、代表委員と委員会の児童が中心になり、東昇降口付近、西昇降口付近、すまいる玄関付近、校舎内で実践しています。

左の写真は、代表委員が集まり、「あいさつ運動」について話し合いをしている様子です。「戸祭小学校のみんなが自分から進んであいさつすることができるよう、代表委員と高学年で協力してあいさつをする。」というめあてを掲げ、取り組んでいます。

本校は、自ら挨拶ができる児童が多く、自然に会釈をすることができる児童も増えてきています。「あいさつ運動」を実施することで、さらに「あいさつの輪」が広がることを願っています。

▶ 創立記念全校朝会

6/17(月)、創立記念全校朝会を行いました。6/15、戸祭小学校は、創立 102 周年を迎えました。

校歌

一、男体のみね 動きなく
鬼怒の流れの 清らかに
空晴れわたる 宇都宮
ここ戸祭の 丘静か

二、栄ゆく街の にぎわいと
山の緑を なめつつ
文化の国を きずく子が
ほほえむ窓に 風さやか

三、心をみがき 身をきたえ
光みなぎる 学び舎に
はまれを高く かがやかせ
われらの望み わが力

作詞 小林 友雄
作曲 石井 勝也

校歌

戸祭小の校歌
昭和27年(1952年)
創立30周年記念(約70年前)
校歌の改訂・制定

入学式や卒業式、始業式や終業式でしかあまり歌う機会がない校歌。しかも、ここ数年はコロナ禍だったということもあり、ますます校歌を歌う機会が少なくなっていました。

伝統ある戸祭小の校歌を歌ってほしい、卒業後も覚えていてほしい、そして、いつまでも大切にしてほしい、そのきっかけになればと思いながら、また、創立をお祝いする気持ちで今回の創立記念朝会では、子供達と教員で校歌を歌いました。

戸祭小の校歌は、創立当初に誕生したものと思っていましたが、戸祭小の沿革を調べていたところ、現在の校歌は、創立 30 周年記念の際に改訂・制定されていることが分かりました。では、それ以前の校歌は？そんな疑問をもちながら、分からずじまいのまま、朝会の当日になってしまいました。

しかしながら、久しぶりに、校歌の3番まで全校児童と教員の歌声が体育館に響き渡り、戸祭小の創立記念をお祝いすることができました。これからも、校歌を大切にしていきたいです。

～後日談～

6/19(水)の戸祭小学校魅力ある学校づくり地域協議会で、全校朝会の話題を出し、創立当初の校歌について情報提供を依頼してみたところ、後日、貴重な情報が寄せられました。

(旧)宇都宮市戸祭専常小学校校歌(創立当初～昭和27年)	宇都宮市立戸祭小学校 校歌(昭和28年～現在)
<p>作詞 小林 友雄 作曲 石井 勝也 採譜 成井 君子・下里 美江子 権正 安納 志郎</p> <p>1 男体の嶺 鬼怒の水 ゆたけき味め 下野の 歴史はもき 宇都宮 ここ戸祭に 光あり</p> <p>2 清生(せい)の社 朝夕に をがみ生くる 吾等こそ 誠の一念 貫きて 心を磨き 身を鍛ふ</p> <p>3 麗魂(れい)に愛の 歌こめて 汗もて魂く 学び舎の はまれを高く かがやかせ 吾等の希望 導けれ</p>	<p>作詞 小林 友雄 作曲 石井 勝也</p> <p>1 男体のみね 動きなく 鬼怒の流れの 清らかに 空晴れわたる 宇都宮 ここ戸祭の 丘静か</p> <p>2 栄ゆく街の にぎわいと 山の緑を なめつつ 文化の国を きずく子が ほほえむ窓に 風さやか</p> <p>3 心をみがき 身をきたえ 光みなぎる 学び舎に はまれを高く かがやかせ われらの望み わが力</p>

【～出典：「戸祭地域の歴史再発見」(著) 戸祭歴史セミナー より～】

出典元の「戸祭地域の歴史再発見」に戸祭小の校歌について記載はありますが、どうして変わったのかについての詳細は不明とのこと。旧校歌については、平成 17 年 4 月に戸祭小元教師が、記憶をもとに再譜したものだそうです。

いつか、旧校歌の音源も復活させたいです。

▶ 戸祭小ホームページ

学習や生活の様子、行事など、学校に関する様々な情報を、ホームページにアップしてお知らせしています。ぜひ、ご覧ください。右QRコードからもアクセスできます。

